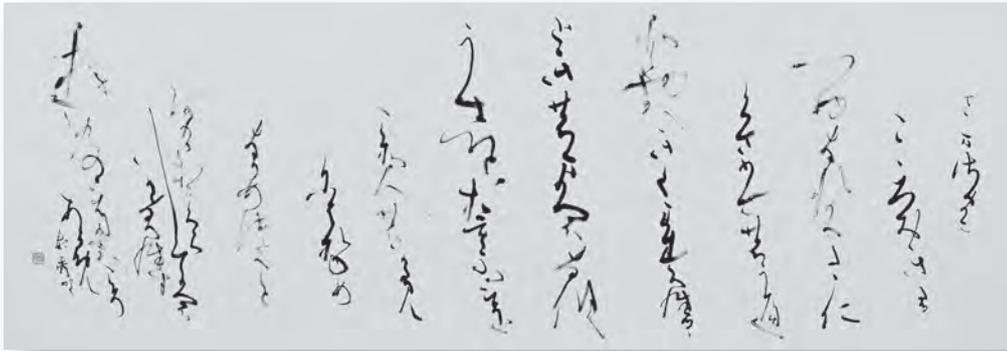


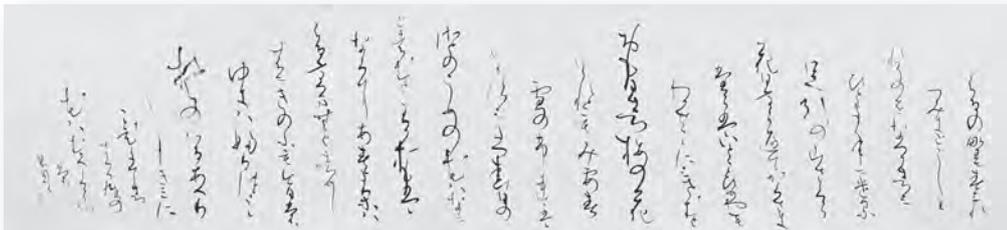
第77回日本書芸院展史邑賞



阿部 泰秀 (二回目)

この度は第七十七回日本書芸院展において、史邑賞を頂き、身に余る思いです。良き報告を父の霊前に報告できたことを嬉しく思います。

この賞を頂いたのも、井茂圭洞先生をはじめ、諸先輩方の熱心なご指導のお陰と心より感謝申し上げます。また、今年は魁星作家にも推挙頂き、例年より本作に取り組む時間や枚数が少なく、焦りも多くありました。しかし、大作を書くことで得られたことも多く、その経験が本作に少し活かせたと存じます。至らぬ所も多く、今後も叱咤激励頂ければ幸いです。



渋谷 翠園 (二回目)

この度は、第77回日本書芸院展におきまして、史邑賞を頂き誠にありがとうございました。これも偏に師井茂圭洞先生をはじめ、一東会の先生方のご指導の賜物と感謝申し上げます。あすなる会で、関戸本古今集に取り組む中、作品の花を作る点に苦心しました。師から無の境地で書く様ご指導頂き、落ち着かない生活の中で気持ちを一新して書きました。この賞に恥じない作品が書けます様精進して参りたいと存じます。今後共ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



中 右 万佐代